

新春フットサル少女A、少女B

<少女A - 3位>

◇リーグ戦

南八ガールズ 対 なかの 5-1 <分館>

得点者 矢久保空さん(2)、田中さん、片寄安さん(2)

アップが足りなかったのでしょうか？それとも・・・。先発のみんなの動きが鈍かったようです。特にキックインの時、キーパーからのクリアランスの時、ボールの受け手の人が動かない(フリーになるうとする動きがない)ためボールを出そうとしても出せない状況がたくさんありました。「みんな動けよ!!!」と言う声がチーム内から出ていました。試合の時間が12分ハーフと短いので調子が出てきたなと思ったら試合が終わってしまいます。もっともっとアグレッシブに(積極的に)試合に入っていきます。自分で動こうとしてボールを要求しましょう。特に6年生はこれが南八王子SC少女のチームとして最後の試合です。今まで練習してきた技術(わざ)

10・3・22(月) 南NEWS NO53

チームワーク、そしていっぱい試合を重ねてきた経験をこの大会で出し切ってください。失敗を恐れずチャレンジしましょう。(成功したことよりも、失敗したことの方がいっぱい学ぶことができるしこれからのプラスになるよ!!)

今日は5年生がいい動きをしていました。特に今大会は5年生がゴールキーパーをやることになっています。前半のゴールキーパーの片寄安さんは声を出しみんなにコーチングをしていました。後半に代わった西條さんは決定的なシュート(ベンチでは2失点目を覚悟しました)をナイスセーブで防いでくれました。(その時のコーチの気持ち:オ〜ビビューティフル!!)攻撃では矢久保空さんのフリーキックでの得点、そしてミドルシュートからのこぼれ球を冷静に決めたのはさすがキャプテンです。田中さんのドリブルで相手をかかわしてのシュートも素晴しかったと思います。でも、シュートするチャンスはいっぱいあったと思います。もっと強引に勝負しても良いと思います。後半フィールドプレーヤーで出た片寄安さんは自分の持ち味を良く出していました。相手を抜くスピードと球際の粘りでシュートを2本決めてくれました。もっと欲を言えばサイドでのプレーだけでなく、もう少しセンター(真ん中)でのプレーを意識して欲しいです。そしてセンターから右・左と移動(ドリブルで)またはパスをくりだせばもっと得点できたと思います。

さて、フットサル大会の予選リーグが始まりました。グループリーグを楽しみ全員サッカーでがんばろう。そしてチャレンジしましょう。(失敗を恐れず!!!)そしたらきっと勝利の女神から、ほほほ笑だけでなくビッグなプレゼントがあるかも!!

南八ガールズ 対 愛宕 3-2 (前半2-2) <分館>
得点者 小杉さん、田中さん(2)

前半2対2、後半1対0でかろうじて勝利しました。試合前、相手チームより最初にシュート、そして先取点を奪う。声を出して「楽しいサッカーをやろう」を合言葉に試合に望みました。得点はするがその後すぐ失点をする。前半はその繰り返しでした。前半苦しい試合展開(後半も同じですが)なのに誰も仲間同士で励ます声もありません。すごく寂しい試合でした。

パスは全然つながりません。それもそうです、すべて1対1(または2)でガチンコ対決です。もっと仲間を使おうよ!!!ボールを呼ぼうよ!!!周りを見ようよ!!!声を出そうよ!!!そして動こうよ!!!

その中でも後半終了前にいいプレイがありました。この試合でただひとつ2人のプレイヤーの心が1つになったプレイだと思います。自陣の左サイドでボールを奪った辻内栄さんがボール



をキープして中央の片寄安さんへパス、片寄安さんがすかさず左サイドを上げてきた辻内栄さんへワンツー。おしくもゴールキーパーに阻まれてシュートまでいきませんが良いプレイだったと思います。こういうプレイをもっともっとたくさん試合で出しましょう。

さて次は決勝トーナメントです。チーム南八ガールズの力(心)を1つにしてあわてずそして楽しいサッカーをやりましょう。 b y 斉藤コーチ

◇準決勝

南八ガールズ 対 南大沢 1-5 (前半0-2) <分館>

得点者 成井さん

準決勝で敗退し3位となりましたが、優勝した南大沢から唯一このチームだけが得点を取り健闘しました。特に前半、5年生を中心としたチームの時に質の高いサッカーができました。人とボールが連動して動けたからです。片寄安さん、西條さん、辻内さんたちが、ボールを出したらスペースへ走る、視野を広く判断を速くする、コミュニケーションを取る、ゴールが見えたらシュートを狙う というサッカー(フットサルですが)の基本がしっかりと出来ました。怪我から復帰したエース成井さんも2ヶ月ぶりとは思えないプレーを見せてくれました。シュートやチャンスの数では相手を完全に上回っていましたが相手キーパーの堅守を崩せずに無得点でした。守備もしっかり出来ていて1失点目は相手を誉めるべきですが、終了間際の選手交代直後に取られた失点だけがちょっと残念でした。

後半2分に片寄安さんのキーパー越しのふわっと上げたコーナーキックを成井さんがきっちり頭で合わせて反撃開始です。ムードはこちらに傾いていますが、なかなかシュートまで行けずこう着状態が続きます。両チームにとっては鍵となる次の得点でしたが、相手キーパーの鋭いドロップキックを直接ゴールに決められて2点差。その瞬間に南八ガールズの緊張の糸が切れてしまったようでした。

この試合で感じたことは、やっぱり基本。なぜ5年生を先発させたかということ、ウォーミングアップのパス回しで上に書いたように、よく動き、よく走り、しっかりとボールコントロールしてパスを回していたのが5年生だったからです。特に狭いピッチで行うフットサルではコントロールミスは致命的。平均的に見れば、優勝チームと一番差があったところがこれだと思います。もっともっと練習しよう。 b y 飛田コーチ

<少女B>

◇リーグ戦

ブーブー南 対 南大沢イエロー 0-1 (前半0-1) <中野市民C>

ニーニャス大会と共に中央大会へ進出した相手との今年度4回目の対戦でした。大人っぽいパスサッカーをする相手に出足の鋭いサッカーで対抗し、攻めたり攻められたいの大接戦でしたが、相手の速いコーナーキックが味方の足に当たって許したOGで負けました。

1年生3人を含む全員が出場しての善戦ではありましたが、あえて課題を上げておきたいと思います。ドリブルに入る時、またシュートを打つ時、気持ちだけが前に行き過ぎていて、相手にぶつけてせつかくのチャンスをつぶしています。これまでは力や勢いだけで簡単に抜くことができても、学年やクラスが上がるにつれて難しくなってきたと思います。いつも練習しているターン、フェイントも試合で使えなければ、なんの意味もありません。もっともっと練習しよう! b y 飛田コーチ

ブーブー南 対 なかのグリーンガッツ 0-2 (前半0-0) <甲の原体育館>

3年生1人、2年生と1年生が各2人の5人ギリギリで試合に臨みました。そういう意味では3年生ばかりのチームに健闘したと思いますが、(みんなも同じだと思います)「もっとできる!」とだけ思っていただけに、正直少し物足りない結果だと思います。

2試合で無得点に終わりましたが、課題は前の試合と同じです。スピードやパワーだけでなく、相手をかかわすためのターンやフェイントがまだまだ身についていません。相手を抜くことができないので、シュートの場面すらなかなか作れないです。でも試合後に、なかのの監督さんが小さい子がガツガツ行っている姿を見て、「将来が楽しみだね」と言ってくれました。本当にそう思います。もっともっと練習しよう! b y 飛田コーチ